

会派長


政務活動費

令和6年6月28日

会派名 民社友愛

氏 名 相澤 宗一

佐藤 和典

政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議			
期 間	令和6年5月30日（木） ～ 令和6年5月31日（金）			
1	日 時	5月30日（木） 13:00 ～ 16:55		
	用 務	国と地方の基本的課題、新たな地方議会をつくる、発想を変えた自治体づくり（日本自治創造学会研究大会）		
	出張先 又は会場	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール		
	調査又は 要望項目 （※）			
	対応者 （※）			
	報 告	別紙のとおり		
2	日 時	5月31日（金） 10:00 ～ 11:40		
	用 務	デジタルで地方を変える、義務教育の最重要課題、自治体を守る（日本自治創造学会研究大会）		
	出張先 又は会場	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール		
	調査又は 要望項目 （※）			
	対応者 （※）			
	報 告	別紙のとおり		

会 派 名 報告者氏名	民社友愛 佐藤和典、相澤宗一
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ■研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	日本自治創造学会 研究大会
日 時	①令和6年5月30日（木）13:00～16:55 ②令和6年5月31日（金）10:00～11:40
場 所 （会 場）	明治大学アカデミーコモン棟 アカデミーホール （東京都千代田区神田駿河台 1-1）
概 要	【研修内容①】 「国と地方の基本的課題」 ・ 地方自治体の目指す道 ・ 個性ある自治体づくり 「新たな地方議会をつくる」 ・ 「政策議会」の理論と実践 ・ 新たな地方議会の創造“議会からの発信” 【研修内容②】 「義務教育の最重要課題」 ・ 今、求められる子どもの自殺予防 「デジタルで地方を変える」 ・ デジタル導入の価値を考える
所 感 等	【佐藤和典】 全国自治体の人口減少対策は、人口の流出をどう抑えるかという『社会減』対策に重点が置かれている。しかし、そのことによって若年人口を近隣自治体で奪い合うこととなり、『ゼロサムゲーム』のような状況になっている。 今回の講義では、人口規模の大きい自治体は『自然減』対策を、小さい自治体は『社会減』と『自然減』の両方の対策が必要であることなど、地域によっての特性や課題解決の違いが確認できた。今後のまちづくりや人口問題の対策を考える上で、行政と民間がお互いに対策を時代に合わせるべく「持続可能性自治体」に向けて努力しなければならない。具体的に柏崎市に当てはめると、「ものづくり産業」と「原子力発電所の立地」である。 二日間を通して、「個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する」とのテーマのもと、改めて考えさせられる機会となった。 【相澤宗一】 持続可能なまちとするためには人口減少を緩やかにする必要がある。そのため個性ある自治体づくりが、人を引き留め、かつ呼び込めることのできる方法と思っており、必然的にそれに力点が置かれるのはごく自然なことであると考えている。 しかし、日本の人口は2008年をピークに、それ以降減少をしており、とどまることを知らない。そう考えると、自治体間競争による奪い合いは、日本全体にとっては意味をなさないのではないかと考える。 然るに、それぞれの自治体が人口減少の現実を真摯に受け止め、そして十分理解してから豊かなまちづくりへと、地域の実情に合わせ進めるべきと考える。 それを踏まえ住む人たちへワクワク感を与えることのできる個性ある政策を見いだせば、住んでいて良かったという幸せを提供できるのではないかなと思う。

